

NEWS RELEASE www.jogmec.go.jp

独立行政法人 エネルギー・金属鉱物資源機構

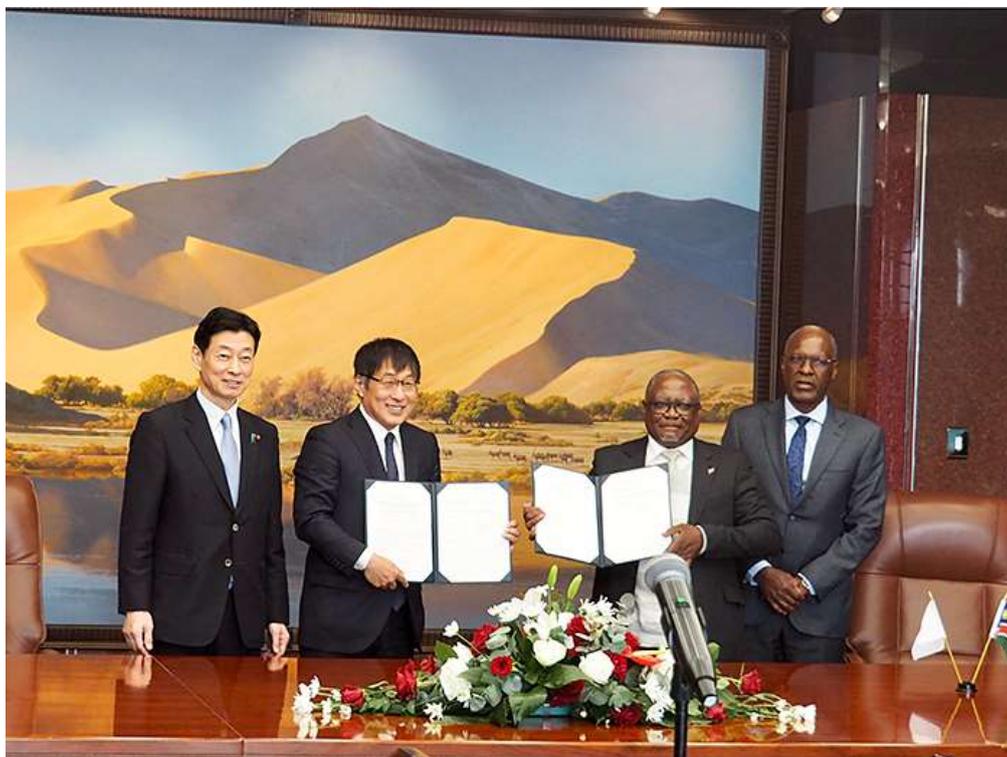
問合せ先: 金属企画部 国際業務課 乙丸、浅野 電話: 03-6758-8027
広報担当: 総務部 広報課 柿平 電話: 03-6758-8106**重要鉱物の確保に向けて、アフリカ諸国と合意文書を締結**

～西村経産大臣のアフリカ諸国歴訪に同行し、各国との関係を強化～

JOGMEC（本部：東京都港区、理事長：高原 一郎）は、西村経済産業大臣の南部アフリカ諸国（ナミビア共和国、アンゴラ共和国、コンゴ民主共和国、ザンビア共和国、マダガスカル共和国）の歴訪に同行し、重要鉱物の確保に向けて、ザンビア共和国においては覚書（Memorandum of Understanding、以下「MOU」という。）、ナミビア共和国及びコンゴ民主共和国においては実施合意書（Scope of Work、以下「SW」という。）に署名しました。

また、ザンビア共和国においては同国への本邦企業の鉱業分野における投資機会創出を目的として、経済産業省及びザンビア共和国政府との共催にて本邦企業を招待し、ビジネスラウンドテーブルを開催しました。

1. ナミビア共和国（2023年8月8日）



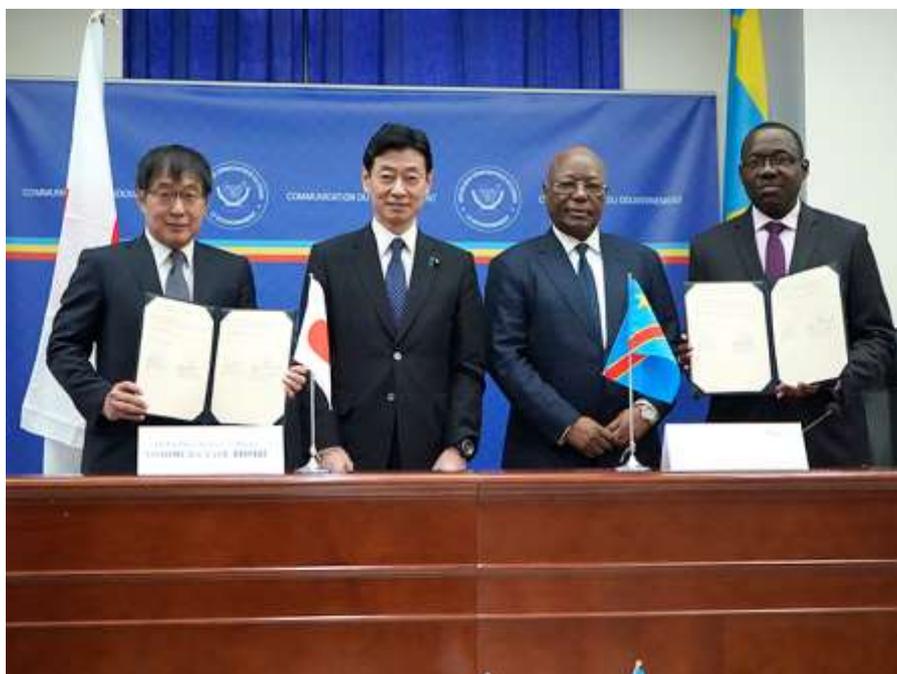
（左から）西村経済産業大臣、高原理事長、
シボロ鉱山・エネルギー省次官補（エイセブ同省次官代行の代理署名者）、
アルウェンド鉱山・エネルギー大臣

高原理事長は、西村経済産業大臣とアルウエンド鉱山・エネルギー大臣及びイーブンブ産業化・貿易大臣との会談に同席し、ナミビア共和国との「ナミビア・レアアース・サプライチェーンに関する調査研究」に係る JOGMEC の考えを示し、その後、同国鉱山・エネルギー省と本調査研究に係る SW に、西村大臣とアルウエンド大臣の立ち合いのもと署名しました。

JOGMEC は、2020 年 1 月から Namibia Critical Metals Inc. (加) の Lofdal Project に参画し、ナミビアでのレアアース探鉱事業を実施中です。また、2022 年 8 月にチュニジアで開催の TICAD 8 において、同国鉱山・エネルギー省とレアアースの開発促進に向けたサプライチェーン調査や、衛星画像及び地理情報システムを用いる金属鉱物資源探査技術の研修、共同解析及び現地調査の協力に係る MOU に署名しています。

本 SW は、同 MOU に基づき、ナミビアに鉱山保有国で採掘された鉱石から分離・精製を行う拠点を整備することによる地域のレアアース産業のハブとなる構想に向けた可能性を調査するもので、その結果は西村大臣が提案し、両国が協力して策定することとなった「ナミビア・レアアース産業マスタープラン」に資するものです。

2. コンゴ民主共和国 (2023 年 8 月 10 日)



(左から) 高原理事長、西村経済産業大臣、モテモナ鉱山副大臣、
タンブエ鉱山省管理・計画技術ユニット副調整官 (署名者)

高原理事長は、西村経済産業大臣とモテモナ鉱山副大臣との会談に同席し、2012 年 2 月にコンゴ民主共和国鉱山省と締結した MOU に基づき探査分野や環境技術支援強化に係る SW に、西村大臣とモテモナ副大臣の立ち合いのもと署名しました。本 SW は、今後、世界的に高い ESG 基準に基づく鉱業投資が進められていくことを念頭におき、2018 年に署名した衛星画像解析や現地調査の共同実施等の協力に関する SW に、環境モニタリング等の技術支援を新たに追加して更新したものです。

今回の会談および署名によって、電気自動車の主要材料として今後、需要の急拡大が見込まれているコバルト、リチウム、銅等が豊富に賦存している同国との協力内容を具体化しました。

3. ザンビア共和国

(1) 署名式（2023年8月11日）



（左から）西村経済産業大臣、高原理事長、
ムウィラ鉱山・鉱物開発省地質調査局長（カベタ同省次官の代理署名者）、
カブスウェ鉱山・鉱物開発大臣、ムリンビカ駐日ザンビア共和国特命全権大使

高原理事長は、ザンビア共和国鉱山・鉱物開発省と探査分野等の協力強化に係る MOU に、西村大臣とカブスウェ鉱山・鉱物開発大臣の立ち合いのもと署名しました。

本 MOU は、2018 年に署名した探査分野と人材育成等の協力に関する MOU に、持続可能な開発についてのセミナーの開催及び未利用資源のポテンシャル評価等を新たに追加して更新したものです。加えて、銅の年間生産量 300 万トンの達成を目指す同国へ、最先端の人工衛星搭載の高性能センサーである HISUI 等を活用した衛星画像解析の実施、共同地質調査の対象エリアの拡大を提案し、協力関係を強化しました。

(2) 日・ザンビア鉱業投資ラウンドテーブル及びサイト訪問（2023年8月10、11日）



ラウンドテーブルの様子

経済産業省及びザンビア共和国政府との共催で、日・ザンビア鉱業投資ラウンドテーブルを開催し、日本から企業11社、現地日本企業1社及びJICAが参加しました。同国鉱山・鉱物開発省をはじめ同国政府関係者からプレゼンテーションが行われ、同国の鉱業分野における投資機会、鉱業政策、税制、投資インセンティブ、債務再編及びカッパーベルトにおけるコバルト鉱化のメカニズムといった情報が示されました。それを受け、日本側から各社の紹介とアフリカでの取組等についての説明があり、その後、活発な意見交換が行われ、同国に対する鉱業投資についての理解が深化しました。



サイト訪問の様子（センチネル銅鉱山）

また、ザンビア共和国における鉱山経営及び投資環境の理解を深めていただくため、日本企業11社に同行いただき、First Quantum Minerals 社が運営するセンチネル銅鉱山及びエンタープライズニッケル鉱山のサイト訪問も実施しました。

さらに、アンゴラ共和国及びマダガスカル共和国にも西村大臣に同行し、アンゴラでは同国のインフラに係るビジネスラウンドテーブルへ出席、マダガスカルではラクトゥマララ鉱物・戦略資源大臣と今後の探査協力に向け意見交換を行いました。

JOGMEC は、今後とも経済産業省とともにアフリカ資源外交に取り組み、我が国への金属鉱物資源の安定供給に向けて、アフリカ諸国との一層の関係強化を図ってまいります。